

目次 CONTENTS

1-2 プロローグ

3-4 市長あいさつ・目次

5-6 本市のプロフィール

7-9 伝統を受け継ぐまち

大日堂舞楽・花輪ばやし

毛馬内盆踊り・大湯大太鼓

10-12 歴史が息づくまち

大湯環状列石・鹿角の偉人

「きりたんぼ」発祥の地

13-14 大自然あふれる癒しのまち

15-16 農業が盛んなまち

17-18 スキーと駅伝のまち

19-20 市民が集い、発信するまち

文化の杜交流館コモッセ

道の駅かつの あんとらあ

21 未来へ向かって交流するまち

22-30 第6次鹿角市総合計画の概要

産業力強化プロジェクト

移住・交流推進プロジェクト

つ角ぐむ「鹿角」ブランド確立プロジェクト

子どもの笑顔きらめきプロジェクト

みらい輝く人づくりプロジェクト

まちなか賑わい創出プロジェクト

地域コミュニティ活力再生プロジェクト

健康生き生き長寿社会プロジェクト



市章 City Symbol

鹿角市の「かつの」を図案化したもので、融和団結と円満平和、そして伸びゆく鹿角を表したものです。

(昭和47年12月18日制定)

Design of "Kazuno (deer horns)" of Kazuno City, symbolizing union, peace and growth of Kazuno.

Established, December 18, 1972

未来の鹿角へ
笑顔の”たすき“をつなげよう

本市は、北東北三県（秋田・岩手・青森）のほぼ中央に位置し、「人・もの・情報」が行きかう交流拠点として、その役割を担うまちです。漂泊の詩人石川啄木が「青垣山を繞らせる、天さかる鹿角の国をしのぶれば、涙し流る。」と詠んだ緑の山々と清流、そして悠久の歴史に恵まれて個性豊かに発展してまいりましたが、人口減少や超高齢社会の到来、地方分権の進展など、自治体を取り巻く環境は大きく変化し続けております。

将来都市像「笑顔がつながり活力を生むまち」の実現のため、市民と行政が一体となり、これまで積み重ねてきた取り組みを土台に、働く場所の確保や、子育てしやすい環境、高齢者にやさしい地域づくりなど、次の世代、またその次の世代までも笑顔がつながり、元気に満ちあふれるまちづくりを進めてまいります。

本書をご高覧のうえ、本市がさらなる高みを目指し力強く歩みを進めるために、お力添えいただければ幸いです。



鹿角市長 児玉 一